



## 2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月5日

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション 上場取引所 東 名  
コード番号 2734 URL <https://www.sala.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO (氏名) 神野 吾郎  
問合せ先責任者 (役職名) 総務部総務グループマネージャー (氏名) 市川 伸一 TEL 0532-51-1182  
四半期報告書提出予定日 2024年7月9日 配当支払開始予定日 2024年7月31日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年11月期第2四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	118,897	△5.6	4,889	△2.6	6,127	7.9	4,304	△9.3
2023年11月期第2四半期	125,976	6.5	5,022	△19.6	5,680	△19.2	4,748	△1.1

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 5,151百万円 (8.3%) 2023年11月期第2四半期 4,756百万円 (△8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	67.25	—
2023年11月期第2四半期	74.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	196,239	83,082	41.6
2023年11月期	189,267	78,645	40.8

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 81,563百万円 2023年11月期 77,179百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2024年11月期	—	13.00	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	5.3	6,300	3.6	8,000	1.6	5,400	△11.5	84.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期 2 Q	66,041,147株	2023年11月期	66,041,147株
② 期末自己株式数	2024年11月期 2 Q	1,862,882株	2023年11月期	2,093,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期 2 Q	64,012,685株	2023年11月期 2 Q	63,844,022株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善が進み、緩やかな回復基調で推移したものの、中東情勢の緊迫化をはじめとする不安定な国際情勢や円安の影響による物価上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、サーラグループは、2023年11月期を初年度とする第5次中期経営計画における重点戦略『ライフクリエイティブ事業ユニット\*でのサービス・事業開発と事業形態の変革』、『期待を上回る「顧客体験」を通じてブランド価値を高める』、『グループ内外との「共創」による事業創造』、『既存事業分野の収益力向上』、『「自ら考え、行動する」人が集う組織風土への変革』への取組みに注力しました。2年目となる当連結会計年度は、カーボンニュートラル推進につながる新たな成長分野への積極的な投資やDX（デジタルトランスフォーメーション）による事業構造の抜本的な改革に引き続き取り組み、同計画の達成に向けて各施策を積極的に推進しています。

当第2四半期連結累計期間におきましては、エネルギー&ソリューションズ事業のサーラエナジー株式会社は、デジタル技術の活用により従来のガス種（都市ガス、LPガス）ごとに分かれた業務の変革を図り、お客さま一人ひとりに合わせた質の高いサービスを提供するため基幹システムの再構築を進めました。

新たな成長投資として同社が静岡県浜松市内に建設を進める系統用蓄電池の設置にあたり、当社はグリーンファイナンス・フレームワークに基づき、グリーンローンによる資金調達を実施しました。

セグメントの枠を越えた連携として、暮らしの事業領域において中古住宅流通事業の展開に取り組むとともに、BtoBのお客さまに向けてカーボンニュートラル診断を通じたソリューション提案を推進するため、営業体制の充実に取り組みました。

アニマルヘルスケア事業の株式会社アスコは、2024年3月に同業の同和化学株式会社の全株式を取得し子会社化しました。これにより、同社は中部エリアにおける経営基盤の強化を実現しました。

まちのにぎわいづくりに向けてサーラグループが参画する豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業につきましては、2021年11月開業の「emCAMPUS（エムキャンパス）EAST」に続き、2024年4月に「emCAMPUS（エムキャンパス）WEST」が竣工し、同年7月のオープンに向けて各施設、店舗の開業準備を進めました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、エネルギー&ソリューションズ事業が大幅な減収となったことから、売上高は前年同期比5.6%減の118,897百万円となりました。利益面は、ハウジング事業は構造改革を進めた結果、収支改善に進展がみられたものの、カーライフサポート事業及びアニマルヘルスケア事業が減益となったため、営業利益は前年同期比2.6%減の4,889百万円となりました。一方、経常利益は営業外収益として為替予約に係るデリバティブ評価益892百万円などを計上したため、前年同期比7.9%増の6,127百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の業績には特別利益として退職給付制度改定益が含まれていたため、前年同期比9.3%減の4,304百万円となりました。

\*「ライフクリエイティブ事業ユニット」エネルギー事業以外の暮らしの事業領域を指します。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### エネルギー&ソリューションズ事業

売上高64,326百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益3,998百万円（前年同期比1.4%減）

都市ガスは家庭用、業務用の販売量が増加したものの、原料費調整制度に基づき都市ガス販売価格を下方調整したことにより、売上高は減少しました。利益面は、都市ガス、LPガスの売上総利益は増加したものの、バイオマス発電所の燃料の原料価格が円安の影響により高騰したことなどから、営業利益は減少しました。

#### エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高14,759百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益1,316百万円（前年同期比4.9%減）

メンテナンス部門は堅調に推移しましたが、建築部門などの完成工事が減少したため、売上高は減少しました。利益面は、土木部門及び建築部門において完成工事粗利益が減少したことなどにより営業利益は減少したものの、引き続き高い水準を維持しました。

#### ハウジング事業

売上高15,511百万円（前年同期比4.3%増）、営業損失180百万円（前年同期は営業損失400百万円）

住宅販売部門は新商品の投入などにより受注が回復したため、注文住宅の販売棟数は増加しました。一方、住宅部資材加工・販売部門は浜松・豊橋エリアの新設住宅着工戸数が減少した影響により、取引先からの受注が減少しました。以上により、セグメント全体では住宅販売棟数の増加が寄与し、売上高は増加し、営業損失は縮小しました。

カーライフサポート事業

売上高8,030百万円(前年同期比9.0%減)、営業損失238百万円(前年同期は営業損失133百万円)

フォルクスワーゲンの新車販売台数は増加したものの、アウディは主力車種の供給不足のため受注が伸び悩んだことから、新車販売台数が減少しました。また、中古車販売台数はフォルクスワーゲン、アウディともに減少しました。以上により、売上高は減少し、営業損失を計上しました。

アニマルヘルスケア事業

売上高13,067百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益170百万円(前年同期比38.6%減)

畜産部門は、動物用医薬品等の受注が堅調に推移しました。また、ペット関連部門において新規顧客との取引拡大が寄与し、売上高は増加しました。利益面は、動物用医薬品等の仕入価格の上昇並びに販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は減少しました。

プロパティ事業

売上高2,263百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益6百万円(前年同期は営業損失18百万円)

不動産部門は、施設管理などを行う資産マネジメント分野の売上が増加しました。また、ホスピタリティ部門において経済活動の正常化に伴い宴会や宿泊の利用客数が増加したことから、売上高、営業利益はともに増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

(資産)

資産は196,239百万円と、前連結会計年度末と比較して6,972百万円増加しました。これは主に、「現金及び預金」が2,681百万円増加したこと、「仕掛品」が2,648百万円増加したこと、「有形固定資産」が2,199百万円増加したこと、投資その他の資産の「その他」が1,116百万円増加したこと、「投資有価証券」が1,076百万円増加したことに対し、「受取手形、売掛金及び契約資産」が2,798百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は113,157百万円と、前連結会計年度末と比較して2,535百万円増加しました。これは主に、「長期借入金(1年内返済予定を含む)」が5,315百万円増加したこと、流動負債の「その他」が1,948百万円増加したことに対し、「支払手形及び買掛金」が2,941百万円減少したこと、「賞与引当金」が1,152百万円減少したこと、「電子記録債務」が1,041百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は83,082百万円と、前連結会計年度末と比較して4,436百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が3,446百万円増加(親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により4,304百万円増加、配当の実施により858百万円減少)したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動による資金の増加5,650百万円、投資活動による資金の減少5,990百万円、財務活動による資金の増加3,068百万円となり、あわせて2,728百万円増加いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の資金は25,276百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、5,650百万円(前年同四半期は3,151百万円の資金の獲得)となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」6,108百万円、「売上債権の減少額」4,395百万円、「減価償却費」3,234百万円などの増加要因と、「仕入債務の減少額」4,099百万円、「棚卸資産の増加額」2,683百万円、「賞与引当金の減少額」1,152百万円などの減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5,990百万円(前年同四半期は3,112百万円の資金の使用)となりました。これは主に、「有形固定資産の取得による支出」6,254百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、3,068百万円(前年同四半期は660百万円の資金の使用)となりました。これは主に、「長期借入れによる収入」8,609百万円の増加要因と、「長期借入金の返済による支出」3,682百万円、「短期借入金の純減額」1,009百万円、「配当金の支払額」855百万円などの減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月12日に公表しました通期の連結業績予想につきましては、営業利益は7,300百万円から6,300百万円、経常利益は8,200百万円から8,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,600百万円から5,400百万円にそれぞれ修正をしております。

詳細につきましては、本日(2024年7月5日)公表の「通期連結業績予想の修正、配当方針の変更及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,966	25,648
受取手形、売掛金及び契約資産	32,254	29,455
電子記録債権	1,834	2,009
商品及び製品	13,988	14,038
仕掛品	7,477	10,126
原材料及び貯蔵品	444	381
その他	5,970	5,665
貸倒引当金	△186	△273
流動資産合計	84,750	87,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,306	20,244
機械装置及び運搬具(純額)	7,141	7,273
導管(純額)	14,848	15,301
土地	32,431	32,393
建設仮勘定	1,760	3,480
その他(純額)	1,418	1,412
有形固定資産合計	77,906	80,106
無形固定資産		
のれん	263	280
その他	2,553	3,381
無形固定資産合計	2,816	3,661
投資その他の資産		
投資有価証券	8,897	9,974
長期貸付金	2,412	2,013
退職給付に係る資産	2,221	2,243
繰延税金資産	3,848	3,642
その他	6,858	7,974
貸倒引当金	△444	△427
投資その他の資産合計	23,793	25,420
固定資産合計	104,517	109,188
資産合計	189,267	196,239

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,225	23,284
電子記録債務	4,379	3,338
短期借入金	8,579	7,569
1年内返済予定の長期借入金	7,273	7,876
未払法人税等	341	1,616
賞与引当金	2,582	1,430
役員賞与引当金	9	3
完成工事補償引当金	47	49
工事損失引当金	55	35
ポイント引当金	234	232
その他	10,670	12,618
流動負債合計	60,399	58,053
固定負債		
長期借入金	36,989	41,701
繰延税金負債	524	940
役員退職慰労引当金	165	167
株式報酬引当金	502	410
修繕引当金	125	136
退職給付に係る負債	8,668	8,809
その他	3,245	2,936
固定負債合計	50,221	55,103
負債合計	110,621	113,157
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	25,300	25,306
利益剰余金	42,326	45,773
自己株式	△1,383	△1,231
株主資本合計	74,267	77,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	985	1,579
繰延ヘッジ損益	442	695
退職給付に係る調整累計額	1,483	1,414
その他の包括利益累計額合計	2,911	3,689
非支配株主持分	1,466	1,519
純資産合計	78,645	83,082
負債純資産合計	189,267	196,239

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	125,976	118,897
売上原価	95,695	88,823
売上総利益	30,281	30,074
販売費及び一般管理費	25,259	25,185
営業利益	5,022	4,889
営業外収益		
受取利息	30	22
受取配当金	35	43
デリバティブ評価益	205	892
持分法による投資利益	201	216
その他	297	241
営業外収益合計	769	1,415
営業外費用		
支払利息	73	97
その他	37	80
営業外費用合計	110	177
経常利益	5,680	6,127
特別利益		
固定資産売却益	24	62
退職給付制度改定益	2,388	—
特別利益合計	2,412	62
特別損失		
固定資産除売却損	64	79
投資有価証券売却損	36	1
減損損失	800	—
特別損失合計	901	81
税金等調整前四半期純利益	7,191	6,108
法人税、住民税及び事業税	1,253	1,405
法人税等調整額	1,106	328
法人税等合計	2,360	1,734
四半期純利益	4,831	4,374
非支配株主に帰属する四半期純利益	83	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,748	4,304

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	4,831	4,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108	595
繰延ヘッジ損益	△94	252
退職給付に係る調整額	△88	△69
その他の包括利益合計	△74	777
四半期包括利益	4,756	5,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,673	5,082
非支配株主に係る四半期包括利益	82	69

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,191	6,108
減価償却費	3,256	3,234
減損損失	800	—
のれん償却額	59	62
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△34
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,241	△1,152
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	△6
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△8	2
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△36	△19
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△5	△2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△28	1
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	△32	△92
修繕引当金の増減額(△は減少)	10	10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,121	151
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,297	△22
受取利息及び受取配当金	△65	△66
支払利息	73	97
持分法による投資損益(△は益)	△201	△216
デリバティブ評価損益(△は益)	△205	△892
固定資産除売却損益(△は益)	△1	△39
投資有価証券売却損益(△は益)	—	1
売上債権の増減額(△は増加)	3,929	4,395
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,512	△2,683
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,069	△4,099
長期未払金の増減額(△は減少)	△38	△162
その他	△138	1,191
小計	5,312	5,769
利息及び配当金の受取額	67	67
利息の支払額	△82	△94
法人税等の支払額	△2,145	△90
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,151	5,650

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,229	△6,254
有形固定資産の売却による収入	494	272
無形固定資産の取得による支出	△685	△558
投資有価証券の取得による支出	△303	△128
投資有価証券の売却による収入	259	120
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	100
貸付けによる支出	△30	△20
貸付金の回収による収入	425	420
その他	△44	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,112	△5,990
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,982	△1,009
長期借入れによる収入	2,000	8,609
長期借入金の返済による支出	△3,620	△3,682
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	97	153
配当金の支払額	△984	△855
非支配株主への配当金の支払額	△6	△5
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△7	△3
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△120	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△660	3,068
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△620	2,728
現金及び現金同等物の期首残高	23,772	22,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,151	25,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年12月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
都市ガス	31,684	—	—	—	—
LPガス	15,383	—	—	—	—
電力	8,877	—	—	—	—
土木工事、建築工事、設備工事	—	14,999	—	—	—
住宅、建築資材	—	—	14,868	—	—
自動車販売・整備	—	—	—	8,826	—
動物用医薬品	—	—	—	—	12,889
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	—	—	—	—	—
その他	15,392	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	71,337	14,999	14,868	8,826	12,889
その他の収益(注)4	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	71,337	14,999	14,868	8,826	12,889
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,092	2,885	7	4	0
計	72,429	17,884	14,876	8,830	12,889
セグメント利益又はセグメント損失(△)	4,056	1,384	△400	△133	277

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
都市ガス	—	31,684	—	31,684	—	31,684
LPガス	—	15,383	—	15,383	—	15,383
電力	—	8,877	—	8,877	—	8,877
土木工事、建築工事、設備工事	—	14,999	—	14,999	—	14,999
住宅、建築資材	—	14,868	—	14,868	—	14,868
自動車販売・整備	—	8,826	—	8,826	—	8,826
動物用医薬品	—	12,889	—	12,889	—	12,889
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	2,132	2,132	—	2,132	—	2,132
その他	—	15,392	724	16,117	72	16,190
顧客との契約から生じる収益	2,132	125,052	724	125,777	72	125,850
その他の収益(注)4	—	—	126	126	—	126
外部顧客への売上高	2,132	125,052	851	125,903	72	125,976
セグメント間の内部売上高又は振替高	246	4,237	884	5,122	△5,122	—
計	2,379	129,290	1,735	131,026	△5,049	125,976
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△18	5,166	40	5,206	△184	5,022

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△184百万円には、セグメント間取引消去539百万円、全社費用△724百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  4. 「その他の収益」は、リースに係る収益等を含んでおります。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)
- エネルギー&ソリューションズ事業において、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては180百万円であります。
- カーライフサポート事業において、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては68百万円であります。
- プロパティ事業において、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては551百万円であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
都市ガス	24,781	—	—	—	—
LPガス	16,781	—	—	—	—
電力	7,447	—	—	—	—
土木工事、建築工事、設備工事	—	14,759	—	—	—
住宅、建築資材	—	—	15,511	—	—
自動車販売・整備	—	—	—	8,030	—
動物用医薬品	—	—	—	—	13,067
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	—	—	—	—	—
その他	15,315	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	64,326	14,759	15,511	8,030	13,067
その他の収益(注)4	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	64,326	14,759	15,511	8,030	13,067
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,095	2,452	5	3	0
計	65,421	17,212	15,516	8,033	13,068
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,998	1,316	△180	△238	170

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
都市ガス	—	24,781	—	24,781	—	24,781
LPガス	—	16,781	—	16,781	—	16,781
電力	—	7,447	—	7,447	—	7,447
土木工事、建築工事、設備工事	—	14,759	—	14,759	—	14,759
住宅、建築資材	—	15,511	—	15,511	—	15,511
自動車販売・整備	—	8,030	—	8,030	—	8,030
動物用医薬品	—	13,067	—	13,067	—	13,067
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	2,263	2,263	—	2,263	—	2,263
その他	—	15,315	749	16,065	74	16,140
顧客との契約から生じる収益	2,263	117,958	749	118,708	74	118,783
その他の収益(注)4	—	—	114	114	—	114
外部顧客への売上高	2,263	117,958	864	118,822	74	118,897
セグメント間の内部売上高又は振替高	245	3,802	971	4,773	△4,773	—
計	2,508	121,761	1,835	123,596	△4,699	118,897
セグメント利益又はセグメント損失(△)	6	5,073	49	5,122	△233	4,889

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△233百万円には、セグメント間取引消去547百万円、全社費用△781百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  4. 「その他の収益」は、リースに係る収益等を含んでおります。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。